
片思い〜君に〜

a n g e l

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

片思い〜君に〜

【Nコード】

N0086G

【作者名】

angel

【あらすじ】

名探偵コナンの登場人物の思いを書いた文章です。男子バレーボールは連載にさせていただきました。

く光彦から哀へく（前書き）

よかったら、評価お願いします。

（光彦から哀へ）

灰原さん、僕、あなたが好きです。

こんな事いきなり言われてもピンとこないですよ。でも、今の僕の気持ちは変わりません。

初めて灰原さんが、学校に来た時、綺麗な人だと思いました。けど、クールで話にくそうな感じだったです。その時は歩美ちゃんが好きだったですから、よく見えて無かったのかもしれませんが。けど、動物とか人に対しての優しさとか、時々見せるあの表情はそんな事感じさせませんでした。

それから僕は灰原さんの魅力に引き付けられていったんです。

だから、コナン君がバスジャックの時助けていた事や、元太君が逃げようとしないう灰原さんを連れ戻した事はショックでした。あの時は2人に嫉妬しました。けど、それよりも大きかったのは、僕の自分に対する劣等感です。僕はなんで勇気がないんだろう、って思いました。この事は人生で一番考えた事だと思います。それで一応答えを出したんです。それは、今度こそ、それを実践することです。

灰原さん、これ聞いて笑いますか？それ以前に、僕の気持ちも“嘘”で流してしまうかも知れませんか。

けど、僕は、あなたの事、本当に、本当に好きなんです。灰原さんはコナン君の事、好きなような気がします。コナン君の方がすごいですもんね。だけど・・・

一度だけでもいいです。僕について、考えてみてください。

僕だって、いい所があるんだという事が分かってもらいたいです。

灰原さん、あなたの気持ちはどうですか？

く光彦から哀へく（後書き）

連載バージョン、1弾！！光彦で行きました！！
上手く伝わってますか？

だと、いいんですが・・・

短編で投稿したときに読んだ方、すみません。
最初から、連載にしておけばよかったですね（汗）

では、いつかまた投稿しますね！！

く小五郎から英理へく

「英理、戻ってきてくれねーか」

それを言うただけに、俺はあの時、何回練習したことだろう。その時のことを考えながら・・・俺はあの時本当に勇気を出したんだ。けど、英理は聞いてくれてなかった。が、チャンスはある。また、頑張ってみようじゃねえか。

英理のことは今でも一番好きだ。俺が沖野ヨーコちゃんのファンになったのも、元々英理がいなくなったからなんだよな。英理がいてくれる時、俺はいつも素でいられた。それは英理が俺のことをわかってくれたのもあったんだが、結局俺らは気が合ってたんだろな・・・いや、違うな。ま、とにかく英理がいるほうがいいんだよ。まだ俺と一緒にいてくれるなら・・・

俺はあの事件・・・そう、警察を辞めたあの時の事件のことがまだ忘れられねえ。別に警察なんて辞めても良かった。英理はしっかりしてるし、いざとなったら俺だってまともな職ぐらい探せるからな。俺は・・・英理が家に帰ってきたとき、何でキレたのか・・・それが後悔の種なんだよな。過ぎたことは言っちゃって仕方ねえ・・・けど、あん時、英理に言わなかったらこんなことにならなかったんじゃないかねえかって思っちゃうんだよ。

蘭にはいつも感謝してる。よりを戻したい俺にしちゃ、救いの神だ。ただ、それを有効に生かしてないだけだ。せつかく蘭が用意してくれたんだがな・・・

今度は上手くやると決意しても、結局上手くいかねえ。けど、まず俺は英理が俺の前で笑っててくれればいい。楽しく、そして嬉しそ

うに・・・それがたとえ自分に向けられてなくても・・・

く小五郎から英理へく（後書き）

3ヶ月ぶりです。すっかりやってませんでした。
忘れてたわけでもないんですがね・・・

そういや、漆黒のチェイサー見ましたか？私は明日見に行きます！！
そしたらここで感想をかこうかな、なんて（笑）
その時は・・・ネタバレしてるかも・・・
あまりに嬉しくて！！

ガッコーでも話題なんですよ^^
では！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0086g/>

片思い～君に～

2010年10月10日07時14分発行